



第 911 号 ミニかわら版

令和 5 年 12 月 15 日

(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

ヤマダ総合公認会計士事務所
代表 山田良平

〒124-0012
東京都葛飾区立石 1-12-11 ヤマダビル
TEL:03-3694-6091
FAX:03-3691-6680

国の借金、9月末時点で約1275.6兆円とやや減少

財務省が本年11月10日に公表しました、令和5年9月末時点での国債や借入金などを合計した「国の借金」は、過去最大だった令和5年6月末から7039億円減って1275兆6116億円となりました。令和5年度の税込総額は約69兆円と6年連続で過去最高を更新の見通しですが、高齢化による社会保障費の膨張に加え、物価高対応の財政支出などがあるため、補正予算後は約44.5兆円の新規国債発行で歳入不足を賄う予定で、国の借金は膨張が止まりません。

令和5年9月末の国の借金は、同年6月末に比べ、国債は▲約2.8兆円の約1131.2兆円で全体の約89%を占め、うち普通国債は約0.8兆円増の約1027.4兆円と過去最大だった同年3月末から0.3兆円増えました。その内訳は、長期国債(10年以上)が約7.8兆円増の約793.7兆円、中期国債(2年から5年)も約4.8兆円増の約191.7兆円と増加しましたが、短期国債(1年以下)が▲約11.8兆円の約42兆円と全体を押し下げています。

この「国の借金」約1275.6兆円は、令和5年度一般会計補正予算後の歳出総額127兆5804億円の約10倍、同年度税込見込み額69兆4400億円の約18.4倍にあたります。これは、年収500万円の会社員が9200万円の借金を抱えている勘定です。また、わが国の今年10月1日時点での推計人口1億2434万人(総務省統計局の概算値)で割ると、国民1人当たりの借金は約1026万円にのびります。

わが国の公債残高(普通国債残高)は年々増加の一途を辿っていますが、令和5年9月末実績の公債残高約1027.4兆円は、令和5年度末(5年度当初予算ベース)には約1068兆円と見込まれています。これは令和5年度一般会計予算税込見込み額約69.4兆円の約15年分に相当し、国民1人当たりでは約857万円にのび、将来世代に大きな負担を残します。ちなみに、上記国の長期債務残高に地方分を加えた国及び地方の長期債務残高は令和5年度(当初予算ベース)で約1280兆円に膨らむ見込みです。

*詳細はこちらからご確認いただけます。

「国債及び借入金並びに政府保証債務現在高(令和5年9月末現在)(財務省)」(令和5年11月10日)

<https://www.mof.go.jp/jgbs/reference/gbb/202309.html>

